



道徳教育だより



足利市立矢場川小学校
平成30年5月21日
平成30年度第3号

5月16日（水）に、2年1組、4年1組、学習クラスで行った道徳の授業を職員全員で参観し、研究会を持ちました。今回は、その授業についてお知らせします。

2年の授業「ありがとうろうたさん」

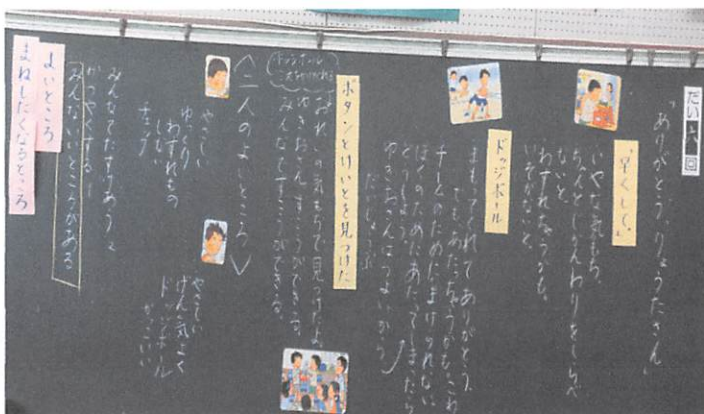
この時期は、個性の芽生えの時期であり、自分の特徴を自覚することは長所を伸ばすためにも重要です。しかし、周りの人にほめられたり認められたりすることによって気付くことが多いことも現実です。

そこで、今回の授業では、教材での学習を通して人それぞれにみんな良いところがあることを学んだ後に、グループのメンバー一人一人の良いところについて伝え合いました。



☆教材の内容について

「りょうた」は何事にも丁寧ですが、行動がゆっくりなためによく周りから急かされます。「ゆきお」は運動が得意で、ドッジボールでりょうたを助けます。その後の図画工作の時間、ゆきおは家から持ってきた大事な材料が見つからず、今にも泣き出しそうになってしまいます。周りの子が机やロッカーの中を覗き込んでも見つかりません。そこで、りょうたがごちゃごちゃに詰め込まれている物を一つ一つ丁寧に揃えながら調べていき、見つけるという教材です。



「友達の良いところ」

- ◎勉強中、班で相談しているといっぱい思いついてくれるところ
- ◎字が上手で、あきらめないところがいいよ。
- ◎1年生の面倒をよく見ていて、やさしくて、足が速くて、困っている人にすぐ声を掛けてくれる。

それぞれの児童が友達の良さを見付け、伝えることができました。

良いところを伝えてもらい、「よいところがいっぱいあって、びっくりしました。ぼくのよいところを見ていて、うれしかったです。」「自分の顔は見えないけど、いつもえがおでいるんだなと思いました。」など、自分のよさを認識することができました。